

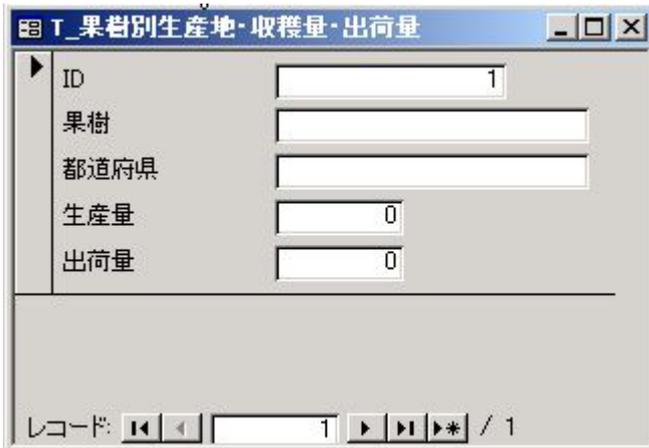
コンボボックス(リストボックス)を使う(2)

フォームのコントロールボックス(テキストボックス)の種類を変え、値リストを設定する

ウィザードを利用して新規に作成したフォームのコントロールの種類を変えて、値リストを設定するには

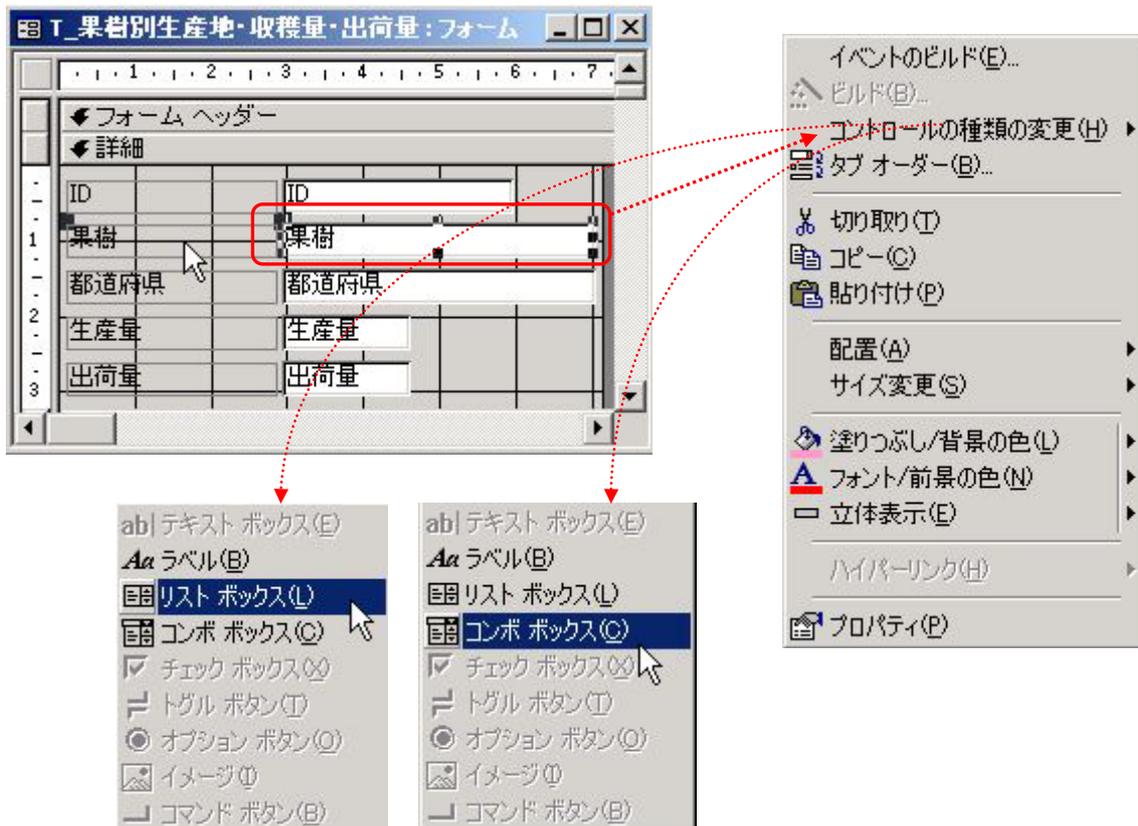
ウィザードを利用して新規にフォームを作成。

レコードソースは「T_果樹別生産地・収穫量・出荷量」(テーブル)を利用



まず「果樹」のコントロールの種類を変えます。

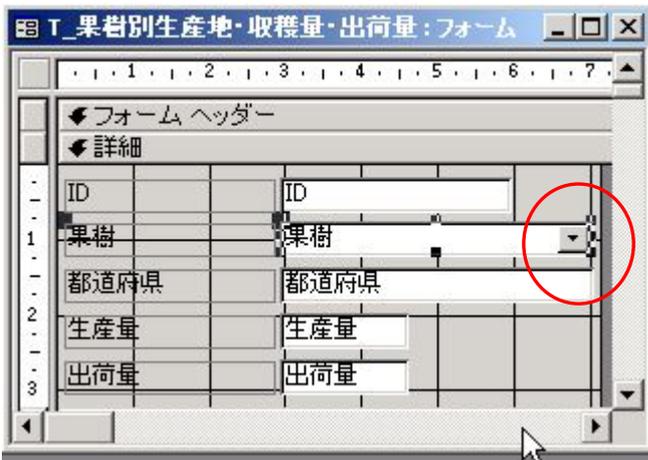
フォームのデザインビューでコントロールの種類を変えたいところを右クリックすると



コンボボックス(リストボックス)を使う(2)

作成者:Komazwa SystemKOMACO

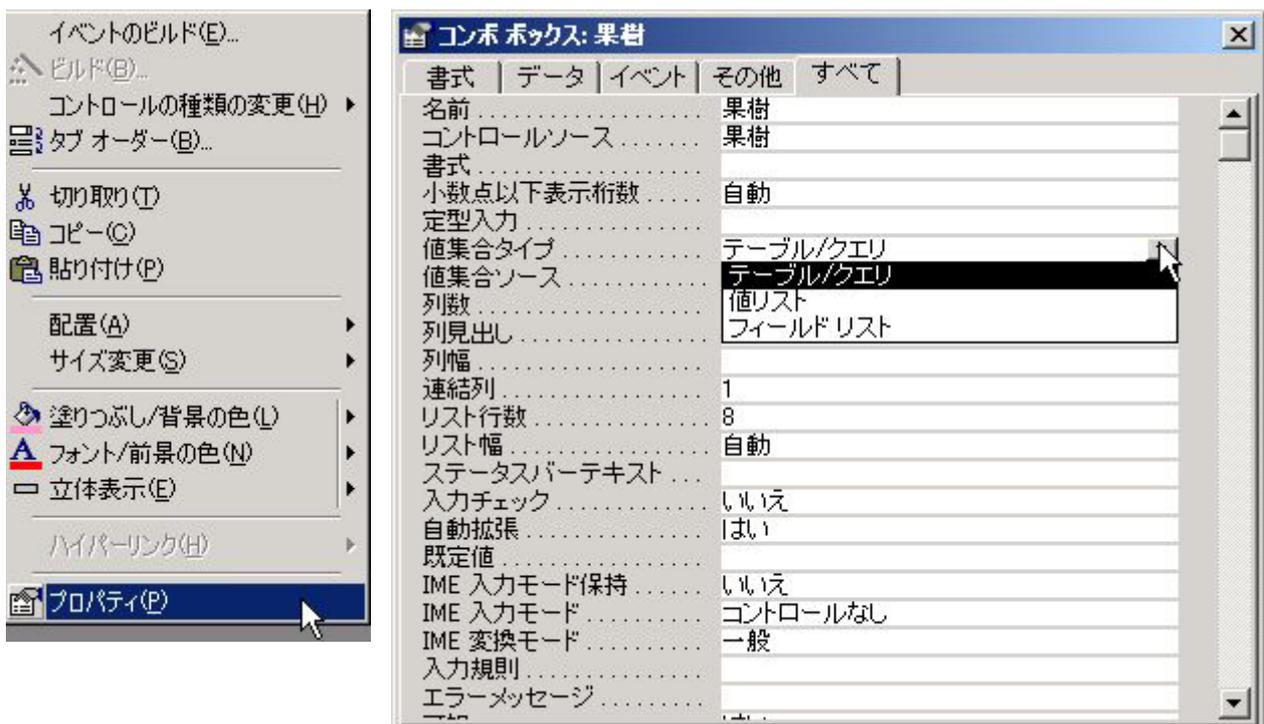
コンボボックスにコントロールを変えるとプルダウンマークが表示された。



リストボックスにコントロールを変えるとコントロールの高さが変わった。



次にプロパティシートを表示させる(ここからはコンボボックス、リストボックスともに共通)



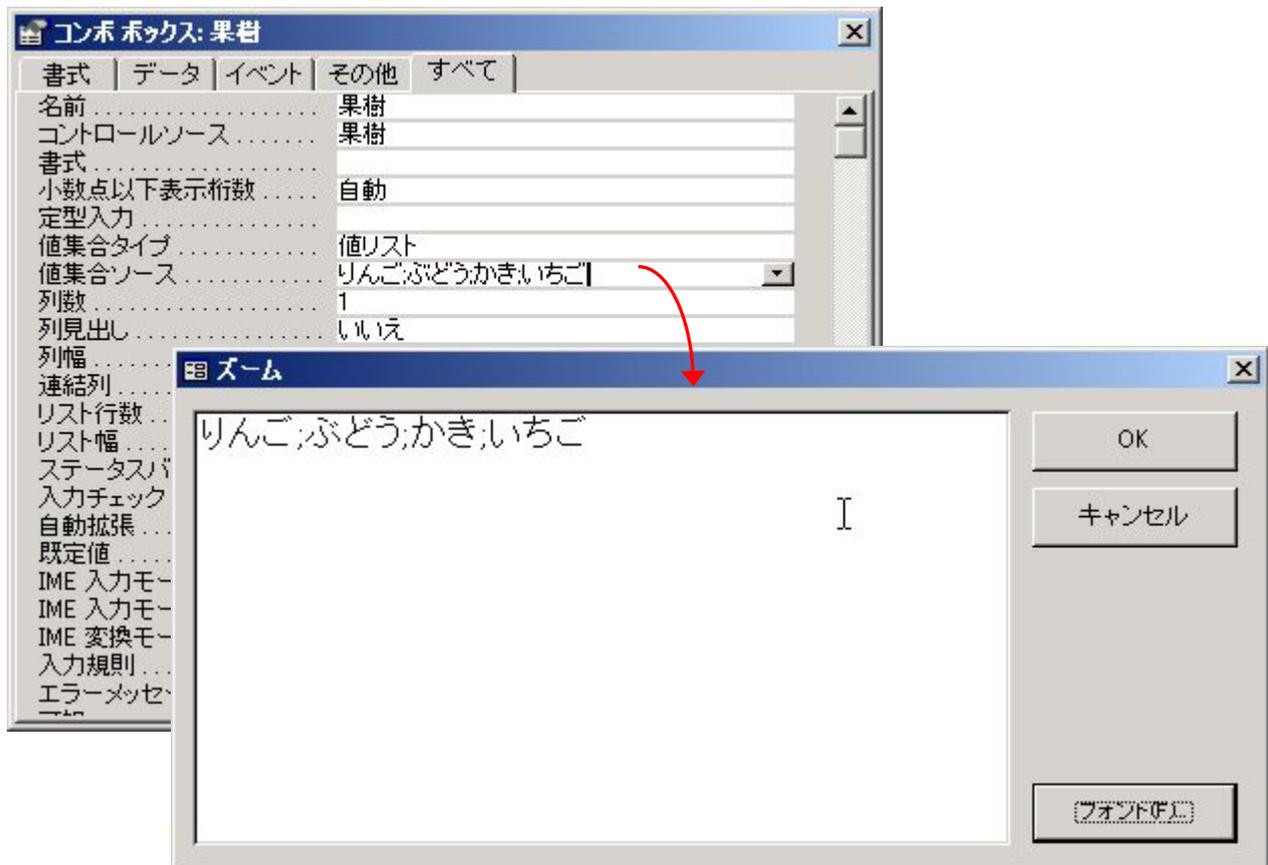
コンボボックス(リストボックス)を使う(2)

作成者:Komazwa SystemKOMACO

プロパティシートの「値集合タイプ」の項目を右クリックすると、次のように表示されるので「値リスト」を選ぶ。



次の「値集合ソース」に次のように記述する。



フォームビューで確認すると次のようなコンボボックスが表示される。



コンボボックス(リストボックス)を使う(2)

作成者:Komazwa SystemKOMACO

リストボックスを使用した時には次のようにフォームが表示された。

ID	1
果樹	りんご ぶどう かき いちご
都道府県	
生産量	
出荷量	

レコード: 1 / 1

左フォームだと他のコントロール(入力ボックス)が使えない!

デザインビューで配置を整えて、

ID	1
果樹	りんご ぶどう かき いちご
都道府県	
生産量	0
出荷量	0

レコード: 1 / 1